ＪＡＲＬ
香川クラブ報

Ｎｏ．３８７　平成２５年２月１５日

フィールドミーティング「ボーリング大会」

香川クラブ創立60周年記念局「8J5KA60」運用中

防災訓練参加

忘年会会場「酔灯屋」

フィールドミーティング「焼き肉」歓迎アート

技術講習会

香川クラブ「シャック」

記念局「８Ｎ５ＩＣＴ」運用

フィールドミーティング

クラブ行事

ＪＡ５ＹＤＥ

通常総会のご案内

激動の平成２４年度も後わずかとなりました、風邪がはやっていますが各局如何お過ごしでしょうか。

年度末の大変お忙しい時期ではありますが香川クラブの通常総会を下記の通り行いたくご案内申し上げます。

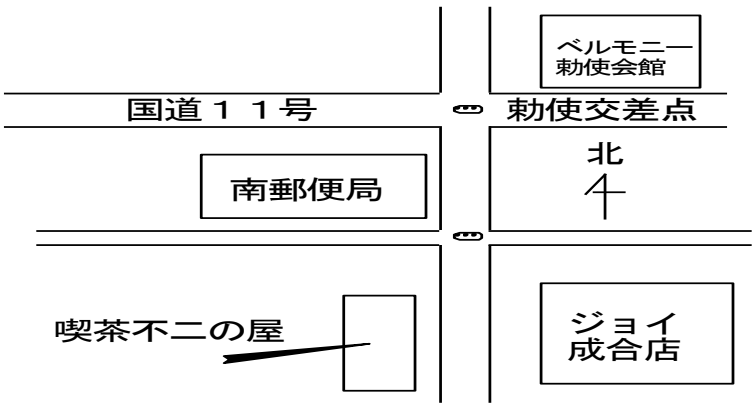
万障お繰り合わせの上たくさんご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：３月２０日(水)
13:30～15:00

場所：高松市成合町
喫茶　不二の屋(下図)

議題：１．平成 24 年度事業報告
２，平成 24 年度会計報告
３．役員改正
４．平成 25 年度事業計画案
５．その他



（注）例年は三好会長のご厚意により「三好よしてる事務所」をお借りして総会を開催していましたが、今年は上記場所に変更となっていますので、お間違いなく！！

忘年会開催される

ＪＡ５ＴＯＰ

今年もＪＡＲＬ香川クラブ恒例の忘年会が去る１２月２２日(土)に開催されました。会場はいつも悩むところですが、今回はクラブ員のＪＩ５ＶＵＺ市原さんのお世話で、御坊町の酔灯屋で行われました。

まず三好会長から今年度のクラブで行なった行事、関わった行事、コンテスト等の報告や会長が選挙で選ばれて社員となったこと。また、ＪＡＲＬの組織改正後初めて行われた第１回ＪＡＲＬ定時社員総会の様子などが報告されました。引き続き、四国から全国区に立候補されてＪＡＲＬ理事、会長（２期目）になられた稲毛OMから難しい組織運営などに触れながらＪＡＲＬの近況について報告がありました。　報告事項もおわり、

ＪＡ５ＩＪＬ林OMの乾杯でのんべーの多い香川クラブの面々、堰を切った様にお酒、ビールに焼酎など注文の殺到です。手際よく注文をさばくお店のお兄さんもびっくり！！飲みながらの話題は、終わったばかりの香川マラソンコンテストの話や、世の中のニュースが中心で、中でも我々無線家が興味を持つ高松空港の管制塔ニュースは大変盛り上がりました。

飲んで、食べて、しゃべって、酒宴は最高潮でしたが予定された時間もあっと言う間もなく過ぎてしまい、来る２０１３年も皆でがんばろうと一本締めで誓い合いました。たいへんＦＢな忘年会でした

［参加者］

JA5MG、JA5AHM、JA5IJL、JA5TFJ、JA5TOP、JH5EZB、JH5LYW，JH5PMZ JE5BYS，JE5PBO、JI5VUZ　（ 11名 ）

JARL 香川クラブ・スタッフジャンパーの制作

先日のミーテングにて制作の提案があったジャンパーを業者に依頼して決定しました。仕様は現在のものと同一で背中にクラブのネーム、腕にはクラブのコールサイン、胸には自分のコールサインを刺繍しています。

会員の皆様より注文を受付しますのでお申し込みください。

○　色　　調　　レッド
○　頒布価格　　1着 5,828 円（税込）
○　申込み先　　JI5VUZ（市原）まで

○　申込みの時にサイズとコールサインを添付のこと

ペンホルダー

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	64	66	69	71	71	73	73
肩幅	51	53	55	57	58	60	61
袖丈	52	55	57	58	58	60	61
胸廻	115	120	125	130	135	140	145

2012香川マラソンコンテスト結果				
＊社団局マルチバンド・マルチモードの部				
2 位	JA5YDE/5	28,737	15	日
＊個人局マルチバンドマルチ・モードの部				
2 位	JA5TOP	21,204	15	日
3 位	JI5XTP	16,848	15	日
4 位	JH5LYW	9,150	15	日
＊7MHz電話の部				
1 位	JA5TFJ	1,705	15	日
＊14MHz電話の部				
1 位	JA5AHM	48	5	日
＊144MHz電信の部				
1 位	JH5EZB/5	812	15	日
＊430MHz電話の部				
6 位	JI5SAO/5	1,035	15	日
10 位	JA5UVT	399	14	日
＊パケットの部				
1 位	JG5RST	2	1	日

コメント集
今年もクラブ員各局のご協力で、一日も欠かすことなく運用することができました。また、ＱＳＯいただいた各局ありがとうございました。2012年お空の忘年会を楽しませていただきました。
2013年もよろしくお願いします。
なお、入賞しても盾は不要です。

コンテストにはエントリー部門が沢山あります。クラブ員のみなさん大いに参加しましょう！！

2012香川マラソンコンテスト集計表

日付	交信数	区分				
１日	１２	バンド	局数	地域ﾏﾙﾁ	モード	局数
２日	１０	1.9MHｚ	3	3	ＣＷ	３３
３日	2	3.5MHｚ	２３	１０		
４日	１１	7MHｚ	３３	１０		
５日	１６	14MHｚ	３２	9	ＳＳＢ	１３８
６日	6	21MHｚ	３２	9		
７日	8	28MHｚ	３２	１０		
８日	１４	50MHｚ	２５	8		
９日	３１	144MHｚ	６５	１４	ＦＭ	１４２
１０日	２７	430MHｚ	７６	１２		
１１日	２５	1200MHｚ	6	3		
１２日	３２	有効交信局数　地域ﾏﾙﾁ　日数ﾏﾙﾁ　総得点				
１３日	３８	合　計：２７９×（８８＋１５）＝２８，７３７点				
１４日	２１	(総交信局数313局、県外とダブリを除く有効交信局数279局)				
１５日	６０	OP：JA5AHM, JA5IJL, JA5TFJ, JH5EZB, JH5LYW, JG5OBX, JI5XTP)				
〈参考〉	2004年　17,408点　、2005年　33,852点　、2006年　20,202点、2007年　28,700点					
	2008年　29,425点　、2009年　32,207点　、2010年　25,970点、2011年　29,088点					

新　春　の　ご　挨　拶

一般社団法人　日本アマチュア無線連盟
会長　JA5MG　　稲毛　　章

新年おめでとうございます。香川クラブ会員の皆様におかれましてはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素はJARLの事業に何かとご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

JARLは平成２３年１１月新法人へと移行し、新会長として理事会の協力をいただきながら業務を執行してまいりました。この春で早や２回目の新春を迎えたことになります。

さて、JARLの本年の最重要課題は、安定した事業運営のためには財政の健全化を図り、収支のバランスをとる事であります。収入も最盛期には３５億円もあり潤っておりましたが、現在の収入は４億数千万円にまで激減しております。会員数はピークで２０万人近い状況でしたが、今日では７万人を切り、その内会費前納者が２万数千人おられ、全会員の約３５%にも達しております。１８億円ばかりあった前納会費積立金も、毎年数千万円取崩して会費に充当した結果、２４年度ではゼロとなり、年払い会員の方々にこれ以上の負担増を望むことは出来ない状況となっております。

支出の減額も平成６年頃から強力に進め、特に職員数を減らして人件費を大幅に減額させました。削減出来ることはほとんど実施いたしましたので、これ以上となると事業の見直しや会員サービスの縮少をせざるを得ない状況であります。

そこで１０年来の懸案事項であります「会費前納者の取扱い変更」について会員皆様方に是非ともお願いしなければなりません。現在、理事会で検討を進めております提案内容としては、８万円以下の前納者は１年の猶予期間の後、２０万円の前納者は１０年の後に、現行のQSLカードの転送とJARL NEWSの取扱いは停止します。ただ選挙権、被選挙権等には何ら変わることはなくて会員として残れます。ただし、QSLカードの転送とJARL NEWSを引き続き希望される方は応分の負担をして頂くことになります。

JARL NEWS冬号に過去の状況を詳細に掲載しておりますので再度ご覧下さい。会員の皆様方には以上の状況を何卒ご理解いただき、改正を通して健全な財政のもと安定したJARL事業の運営を進めることができますことをお願い申し上げます。

６月の社員総会後、３つのエリアの地方本部長が不在という予想もしていなかった状況となり、地方本部長は１日たりとも空白にすることは出来ませんので、地方本部長代行を選任し、その後、理事会等で検討した結果、昨年末３つのエリアの新本部長が決定され、その一つである四国地方本部長には地元香川のJA5SUD森田耕司氏が就任致しました。

最後に香川クラブ会員皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げますとともに、今後もJARLの新リーダーとして日本のアマチュア無線界発展のために尽くす所存でありますので、どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

2012 全日本ＡＲＤＦ競技大会　in　美濃

JH5LYW

2012 全日本 ARDF 競技大会が、去る 11 月 24・25 日に岐阜県で開催された。
岐阜県はその昔、美濃の国と言われ、「美濃を制する者は天下を制する」と言われるほど織田信長や斎藤道三など戦国時代から重要な地であった。
美濃平野が広がり、木曽川や長良川が豊かな土地を潤し、自然に恵まれ里山の稜線の上には真っ白な雪に包まれた北アルプスの山々が見える。

11 月 23 日の朝、いつもの ARDF ﾒﾝﾊﾞｰ 10 名が 2 台の車に分譲して移動することにした。
ﾒﾝﾊﾞｰ10名の内訳は、ｸﾗﾌﾞﾒﾝﾊﾞｰの JA5UVT・JI5CAE 詫間夫妻、JG5WTP 滝井 OM、私と JH5PRJ（家内）、その他 JR5ASB 宮井 OM、JG5WWD 比嘉 OM、JI5GZL 松村 OM、そして北宇和の JH5FUL 松浦 OM、徳島の JR5PVC 坂東 OM である。
北宇和の松浦 OM は当日こちらに合流するのが大変なので、前日に我が家に宿泊する事になり、前哨戦宜しく、一杯やりながら ARDF 談義に花が咲き、二人でおおいに盛り上がった。

23 日朝少し小雨の降る中、連休初日ということもあり各所で渋滞に巻き込まれながらお昼過ぎには各務原に着いた。
”ﾊｲｳｪｰｵｱｼｽ　ｱｸｱ・ﾄﾄぎふ”で休憩していると、何やら賑やかな音楽や人の声。
建物の裏に廻って見ると公園になっており、一角では各務原ｷﾑﾁを使ったいろいろな売店が並び、ｽﾃｰｼﾞでは音楽にあわせ軽快な踊りがｸﾞﾙｰﾌﾟごとに順次くりひろげられていた。
何時まで見ていても飽きないが後ろ髪を惹かれる思いで会場を後にして、今日の観光先である”岐阜城”に移動した。真っ赤に色づいた紅葉など眺めながら、ﾛｰﾌﾟｳｪｲとその後徒歩で山道と階段を登らなければならなかった。
城内の展示物を見学しながら天守閣に上がり、高欄から眺める風景に大感激。
360 度の大ﾊﾟﾉﾗﾏに、かつては織田信長が望遠鏡を使い楽市・楽座で賑わう城下を見渡していたのか、あるいは天下統一の野望を覗いていたであろう絵が頭をよぎり、時代は違うが何かふっと同化したように感じた。

岐阜城を後にし、宿泊先のﾎﾃﾙに入り、そこにあるﾚｽﾄﾗﾝで夕食を取ることにした。
勤務の都合で別行動となっている JF5MED 山田 OM と姫路の JM3VEC 近藤 OM が合流し、総勢 12 名の予約無し団体に小さなﾚｽﾄﾗﾝは大慌て。
準備に 30 分ほどかかるから待ってと言われ、他のお客を断って我々を受け

入れてくれた。
大宴会の後は正体不明になり、部屋のﾍﾞｯﾄﾞで目が覚めたのは朝であった。
　同行した家内に小言を言われながらゆっくりした朝食を取り、ｴｷｼﾋﾞｼｮﾝ大会会場である”岐阜県百年公園”に移動した。
　今年のｴｷﾋﾞｼｮﾝ大会は 144MHz 帯で公園内、競技ｴﾘﾔは狭いが起伏に富んでいる。
競技地図を貰って見ていると、早い選手は 40 分前後でｺﾞｰﾙするのではと思われた。
ｽﾀｰﾄしてすぐ近くの丘に上がり探索開始 5 個全ての探索を終え、まず第 5TX を目指した。
丘の中腹に配置されており 13 分 46 秒でｹﾞｯﾄ。
次は第 3TX を目指して走っていると審判が両手を広げ通行止めの合図。
仕方なく来た道を少し引き返し丘へ続く道を進む、ふと横を見ると第 4TX 発見。
M60 ｸﾗｽには不要だが、せっかくだからﾁｪｯｸして第 3TX を目指す。
丘の稜線をひたすら進み競技ｴﾘﾔの端でやっとｹﾞｯﾄ。所要時間はすでに 30 分 30 秒
続いて第 2TX を探索するもなかなか方角がつかめない。
ﾐｽを重ねながらｹﾞｯﾄした時は 39 分 49 秒。
さらにｺﾞｰﾙへの道が見つからず、藪漕ぎをしながら丘の稜線にやっと出た。
何とかｺﾞｰﾙﾗｲﾝ入口にたどり着くとｺﾞｰﾙは 300m 以上も先に設置されている。
見えているのに遠いｺﾞｰﾙを目指してひた走り、ｺﾞｰﾙﾁｪｯｸしたのはｽﾀｰﾄして 55 分 12 秒も経過していた。
当初予想したとおり、早い人は 40 分を切るぐらいでｺﾞｰﾙしている人がいた。
　全員、ｺﾞｰﾙして話していると、4 個ゲットしてﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰをした近藤 OM と 1 個しかｹﾞｯﾄしていないがﾀｲﾑ内に帰っていた滝井 OM がお互いを茶化して皆を笑わせていた。
結果発表を見に行くと、M60 ｸﾗｽは松浦 OM が 3 位で私は 5 位だったのだが、1 個ｹﾞｯﾄしたと言っていた滝井 OM が無探索失格になっていた。
審判のﾐｽか滝井 OM が十分にﾁｪｯｸしていなかったのかと思っていたが、良く聞くと「TX の写真は撮ったが、そう言えばﾁｪｯｸした覚えがないような」と言い出した。
皆の大爆笑の上から近藤 OM に「無探索よりﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰの方が上や」と言われ、またまた皆大笑い「目糞、鼻糞の世界や」と笑いは尽きなかった。
　競技場を後にして、近くの”武芸川温泉”で汗と疲れを取りﾎﾃﾙに帰った。
ﾚｽﾄﾗﾝで夕食を頼むと、時間が無く遅くなるとのことで近くの焼肉屋さんへ繰り出した。
　25 日いよいよ全日本大会
山間の朝は良く冷えており、車のﾌﾛﾝﾄは霜がくっ付いて溶けそうに無いので、皆が集まるまでｴﾝｼﾞﾝをかけ霜を溶かした。
　会場に着くと、昨年ｵｰｽﾄﾗﾘﾔへ一緒に参加した仲間達と昨日に引き続き談笑。
たった数日一緒にいただけだが、皆覚えてくれていてまるで旧知の仲みたいに打ち解けて話せた。
ARDF を通じて素敵な時間と仲間が出来たと家内とよく話しをする。

ｽﾀｰﾄ組は 15 組目(最終組)
次々と選手が出て行き、ｽﾀｰﾄしたのは第 1 組が出て 1 時間以上。
早い人はもうｺﾞｰﾙしている人もいるのだろうな、なんて思いながら飛び出した。

大会は 3.5MHz 帯（例年は 144MHz 帯だが）
大会参加数日前に愛機の受信不良が発覚、急遽詫間 OM に受信機を借りて参加したこともあり少し弱気。
広場に出て受信するが、ほとんど聞こえない。
この受信機も駄目かと思いながら、とりあえず山越えをすることにした。
山の稜線を越えるとやっと第 4TX の信号が聞こえだした。
探索しながら進み、やっとゲットした時には 30 分 22 秒もかかっていた。
第 5TX は行き過ぎており、引き返して 40 分 49 秒でゲット。
最後の第 3TX に向かうが、向かう経路を迷って良く地図を見ずに走ってしまった。
ふと、道の横に必要の無い第 2TX を発見。習性か欲張りか、ついでにﾁｪｯｸしながら昨日のﾊﾟﾀｰﾝと同じだなと苦笑い。
急斜面を木に掴まり設置されているロープを掴みやっと頂上にたどり着き、反対側に下りようとすると滑って危険で、またまたロープや木に掴まりながらやっと山を下りた。
山沿いに進むと信越や関東の大ﾍﾞﾃﾗﾝに追いついた。
自分を信じれば良かったが、つい強豪に引っ張られ、ついていく羽目に。
離れようとしても磁石のごとく吸い寄せられ、まだまだ甘いなと後悔した。
大幅なﾀｲﾑﾛｽをして第 3TX をゲットした時は 1 時間 19 分 24 秒も経過していた。
1 時間 26 分 13 秒でゴールした時は入賞は無理と覚悟した。
　昼食や着替えを済ませ結果を見に行くと、昨日の 144MHz 帯は 4 位で入賞。
3.5MHz の速報では 3 位に位置している。
松浦 OM が 1 位で「三好さん、もう決まりだよ良かったね」と言ってくれた。
「まだ、最終発表じゃないしﾁｪｯｸしとらん人もいるやろ」と言うと「三好さんは最終組のｽﾀｰﾄやから、今速報に出とる以外で上位に来る人はおらんでぇ」とのこと。
松浦 OM の言葉どおり 3 位入賞で、両部門とも表彰された。
各地から集まった知り合いの各局に再会を誓い、別れを告げ会場を後にした。

　昨日の”武芸川温泉”が良かったからと再度ハンドルを切った。
温泉に着くと売店のおネエさんが「リンゴ退けてますよ」と声をかけてきてくれた。
昨日、温泉に浸かって出てきてから買おうとすると売り切れていて、家内が残念がっていたのを覚えてくれていたとのこと。
来るか来ないかわからない、香川から来たと言う客のためにわざわざ取って置いてくれた人情に大感激、記憶に残る温泉となった。

進路を最終目的地である郡上八幡にある”菊美屋”へ向かった。
“菊美屋”は一日一組の客しか取らず、食材はすべて宿のご夫婦の手作りか、自ら採ってきたものだけを使っているとか。
通常では食べる機会がないものや珍しい物が出され、恐る恐る食べる人、懐かしがって喜ぶ人、また飲物もビール・お酒以外で、いろいろな種類の物を漬けた焼酎の数々も飲ませてくれ大喜びの夕食であった。
朝、目が覚めると外は雨。
遅い朝食を取り、旅館のご夫婦に別れを告げ郡上八幡の町中をドライブした。
古い町並みで屋根のひさしに気を付けて、対向車を交わすのにも一苦労といった感じ。
雨で無ければ、ゆっくり歩いて散策すれば素晴らしいだろうなと感じた。
郡上八幡城に登ってみようと案内に沿って登山道を登り始めるとヘヤピンカーブの連続。
時には切り返さないと曲がりきれないカーブが 2 箇所あり、雨のため路面は濡れているし、落ち葉と急斜面のせいでタイヤがスリップしだして焦りながら何とか頂上にたどり着いたが、お城はまださらに一段高いところにある。
見学をあきらめ、恐る恐る下山。
近くにある博覧館を訪れ、郡上八幡に関する資料や展示物を見学した。

日本三大祭りと言われる”郡上おどり”について、いろいろ説明や実演をしてくれるコーナーがあり知識を新たにした。
時間とお天気が許せばぜひまた来て見たいと後髪を引かれながら帰路についた。
途中、昼食を兼ねて来る時に寄った“ﾊｲｳｪｰｵｱｼｽ　ｱｸｱ･ﾄﾄぎふ”に寄ることにした。
”ｱｸｱ･ﾄﾄぎふ”（岐阜県世界淡水魚園水族館)ではｱｼｶｼｮｰを見て、館内を見学。
世界最大の淡水魚”ピラルクー”や”メコンオオナマズ”を始め 220 種 25,000 匹以上の生物と 40 種 3,500 株以上の植物が飼育展示されており、世界最大級の水族館として人気を集めているとのことである。
水族館は河川環境楽園ｵｱｼｽﾊﾟｰｸに囲まれ、館内外とも見どころ一杯の施設である。
ここも時間があまり取れず駆け足の見学で、ぜひまた来て見たいところであった。
ワイワイと ARDF 競技や旅の疲れも忘れて、楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、21 時に無事我が家に到着した。
毎年のことであるが､ARDF 競技を満喫し､旅を満喫し､今年の ARDF 競技の幕を閉じた。
2013 年の全日本 ARDF 競技大会は富山県と決定したとのこと。
また、おおいに楽しみ今年以上の経験が出来ればと期待している。
ARDF をやっている方もやっていない方も、ぜひそれぞれに新たな出会いと知識と経験を求めて活躍することを期待しております。

『ハムフェスティバル in 香川』のご案内

JARL 香川県支部では『ハムフェスティバル in 香川』を下記のとおり開催します。また、『自作品展示』に出品される方は当日会場までご持参ください。

記

○ 日 時 平成 25 年 3 月 10 日(日)　13 時より 16 時まで(受付は 11 時～13 時半)
○ 会 場 丸亀市綾歌総合文化会館(愛称:アイレックス)
丸亀市綾歌町栗熊西 1680 電話 0877-86-6800
http://www.marugame-ilex.org/
○ 催 物 自作品展示、メーカー展示、ジャンク市、
○ 次 第 ＊行事及び会計報告、監査指導概況
＊講 演 『南極・昭和基地の通信と8J1RL』
第51次日本南極地域観測隊 越冬隊員
通信部門 JE5XYT 大谷祐介氏（丸亀出身）
＊各種コンテスト表彰 お楽しみ抽選会

日赤香川県支部からのご案内

JA5MG

日赤香川県支部から依頼がありました。下記の通信訓練にご参加ください。

記

○ 日 時 2 月 11 日（月） 11:30～12:30 ＪＳＴ
○ 主催者 兵庫県無線赤十字奉仕団 ＪＨ３ＹＴＲ
○ 周波数 ７，０６０ＭＨｚ ± ５ＫＨｚ ＳＳＢ

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成２４年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

ＪＡＲＬ香川クラブ報		
発行責任者	ＪＨ５ＬＹＷ	三好 伸幸
編 集 者	ＪＡ５ＴＦＪ	横田 寿夫
	ＪＡ５ＴＯＰ	平賀 正明
	ＪＩ５ＶＵＺ	市原 義博
	ＪＩ５ＸＴＰ	坂内 信洋